

2018年度教育改革に向けた私立大学情報環境調査

2018年12月

公益社団法人 私立大学情報教育協会

本協会では、私立大学が教育改革を目指して基盤環境として備えるべき情報環境の整備充実を促進するため、加盟校を対象に情報環境の整備状況及び将来計画について振り返り、改善に向けて取り組むべき課題を整理・認識する調査を実施しています。

今回の調査では、教育の質的転換及び全学的な教学マネジメント確立の観点から、情報環境利活用の状況と効果を自己点検・評価することで、望ましい教育・学修環境づくりを目指した改善に取り組むことが可能になると考えております。

集計・分析結果は「2018年度教育改革に向けた私立大学情報環境白書」として2019年5月の総会で報告の後、大学及び文部科学省、関係機関に情報環境整備充実への支援について理解の促進に努めます。

お手数を煩わせ誠に恐縮ですが、全学的な立場で関係部署とお打ち合わせいただき、2019年1月25日迄に回答いただきますようお願い申し上げます。

- ※1 本調査は、大学・短期大学の負担を軽減するため、本協会の Web サイトからオンラインで回答いただくことにしております。サイトへの接続にはパスワードが必要です。詳しくは、2018年12月1日付で郵送の「2018年度教育改革に向けた私立大学情報環境調査への協力について（お願い）」をご覧ください。
- ※2 調査項目の「現状」は2018年度のことです。また、「3年後」とは2021年度のことです。
- ※3 この調査での ICT は、(Information and Communication Technology) のことで、PC だけでなくスマートフォン等も含むさまざまな形状のコンピュータを使った情報通信技術の総称です。

大学名	
回答部局名	
回答担当者名	
連絡先	(電話番号)
	(FAX 番号)
	(e - mail)

I. 教育の質的転換に向けた ICT 利活用の状況と効果

1. 事前・事後学修等の充実に向けた学修支援システム (LMS) の利活用と効果

(1) 事前・事後学修等の充実に向けた学修支援システム (LMS) 利活用の現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で利活用している ② 一部の学部又は学科で利活用している ③ 大学としての取組みを計画又は検討中
④ 利活用していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

(2) 上記で2018年度①又は②に回答の場合、事前・事後学修等の充実に向けた学修支援システム利活用の効果について、一つ選び回答して下さい。

- ① 事前・事後学修に取り組む学生が増えた ② 事前・事後学修の時間が客観的に増えた
③ 授業に積極的に出席する学生が増えた ④ その他 (①から③以外) ⑤ 顕著な効果は見られない

2018年度	
--------	--

※ 上記④その他に回答の場合、その内容を記入して下さい。

2. アクティブ・ラーニングの充実に向けた ICT 利活用と効果

(1) アクティブ・ラーニングの充実に向けて ICT を利活用している現状について、一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で利活用している ② 一部の学部又は学科で利活用している ③ 大学としての取組みを計画又は検討中
④ 利活用していない

2018 年度	
---------	--

(2) 上記で①又は②に回答の場合、アクティブ・ラーニングの充実に向けた ICT 利活用の主な取組み内容について、3つ以内を選び回答して下さい。

- ① 教員と学生間のコミュニケーションを促進し、主体的な学修の促進を図る
② 反転授業や e ラーニングを普及させ、知識・技能の定着を図る
③ 教員と学生、学生同士による双方向授業を通じて表現力などの向上を図る
④ 地域社会や産業界と連携した授業を通じて、課題解決力と実践力の向上を図る
⑤ グループ学修を充実させ、発表・相互評価を通じて主体性・多様性・協働性の向上を図る
⑥ PBL、TBL などを通じて、多様性・協働性及び課題解決力の向上を図る
⑦ 分野を横断した学びを通じて、知識の組合せ、発想力・構想力の向上を図る
⑧ その他 (①から⑦以外)

2018 年度	
---------	--

※ 上記⑧その他に回答の場合、その内容を記入して下さい。

--

(3) 上記 (1) で①又は②に回答の場合、アクティブ・ラーニングに ICT を利活用した教育効果について、3つ以内を選び回答して下さい。

- ① 事前・事後学修に取り組む学生が増え、知識の定着が進んだ
② 暗記型の学修から考察型の学修に取り組む学生が増えた
③ 主体的に自分の考えを説明できる学生が増えた
④ 失敗を経験させることで、真剣に学修に取り組む学生が増えた
⑤ 問題発見・解決を体験することで、実践力を身につけた学生が増えた
⑥ その他 (①から⑤以外)
⑦ 期待した以上の顕著な効果が見られない

2018 年度	
---------	--

※ 上記⑥その他に回答の場合、その内容を記入して下さい。

--

3. 知識・技能の定着に向けた ICT 利活用による反転授業の実施と効果

* ここでの反転授業とは、あらかじめ授業を映像などで受講した後に、対面式の授業でディスカッションなどを行う授業形態を指します。

(1) 知識・技能の定着に向けた ICT 利活用による反転授業の実施状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての取組みを計画又は検討中
④ 実施していない

2018 年度		2021 年度	
---------	--	---------	--

(2) 上記で 2018 年度①又は②に回答の場合、知識・技能の定着に向けた ICT 利活用による反転授業の効果について、一つ選び回答して下さい。

- ① 事前・事後学修に取り組む学生が増えた ② グループ学修での教え合い・学び合いが増えた
③ 知識の定着が進み授業運営が円滑になった ④ 授業に積極的に出席する学生が増えた
⑤ その他 (①から④以外) ⑥ 顕著な効果は見られない

2018 年度	
---------	--

※ 上記⑤その他に回答の場合、その内容を記入して下さい。

--

4. 個別指導・学修に向けたeラーニングの利活用と効果

* ここでのeラーニングとは、学生の理解度に応じて学修を進め、自己診断を行い、その結果について教員の指導を適時受ける学びのスタイルで、学修支援システム(LMS)等を用いた教育を指します。

(1) eラーニングの実施状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての取組みを計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

(2) 上記で2018年度①又は②に回答の場合、eラーニング導入・利活用の効果について、主なものを一つ選び回答して下さい。

- ① 自ら学ぶ習慣を身につけた学生が増えた
② 学生の都合に合わせた学修が可能になり、事前・事後の学修時間が増えた
③ 学生の理解度に応じた個別指導・学修が可能になり、学力の底上げに効果があった
④ 学修履歴を把握することで、授業改善に活かすことができた
⑤ その他(①から④以外) ⑥ 顕著な効果は見られない

2018年度	
--------	--

※ 上記⑤その他に回答の場合、その内容を記入して下さい。

--

5. クリッカー等を用いた双方向型授業の実施と効果

(1) クリッカー等を用いた双方向型授業の実施状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての取組みを計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

(2) 上記で2018年度①又は②に回答の場合、クリッカー等を用いた双方向型授業の効果について、主なものを一つ選び回答して下さい。

- ① 学生の授業出席が増えた ② 理解度を把握した授業運営が可能になった
③ 教員と学生のコミュニケーションが増え、学習意欲が向上した
④ その他(①から③以外) ⑤ 顕著な効果は見られない

2018年度	
--------	--

※ 上記④その他に回答の場合、その内容を記入して下さい。

--

6. 地域社会・産業界・大学間との連携授業にICTを利活用する取組みと効果

(1) 地域社会・産業界・大学間との連携授業にICTを利活用する取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で利活用している ② 一部の学部又は学科で利活用している ③ 大学としての取組みを計画又は検討中
④ 利活用していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

(2) 上記で2018年度①又は②に回答の場合、連携授業にICTを利活用した効果について、主なものを一つ選び回答して下さい。

- ① 体験を通じて主体的学修の意義を理解する学生が増えた ② 実践的な学修を通じて学修意欲が高まった
③ 問題発見・解決力が向上した ④ 第三者による学修成果の評価が可能になった
⑤ その他(①から④以外) ⑥ 顕著な効果は見られない

2018年度	
--------	--

※ 上記⑤その他に回答の場合、その内容を記入して下さい。

--

7. 多機能携帯端末を用いた授業への取組みと効果

* ここでの多機能携帯端末とは、スマートフォンやタブレット端末などを指します。

多機能携帯端末を用いた授業への取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している
③ 大学としての取組みを計画又は検討中 ④ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①又は②に回答の場合、授業での多機能携帯端末の利活用の内容について記入して下さい。

--

8. 教育内容の豊富化・充実に向けた大規模公開オンライン講座（MOOC）の利活用

(1) 大規模公開オンライン講座の利活用について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で利活用している ② 一部の学部又は学科で利活用している ③ 大学としての取組みを計画又は検討中
④ 利活用していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①又は②に回答の場合、MOOC等の名称、利用講座、授業に導入している科目名、受講学生数などについて、記入して下さい。

--

(2) 大規模公開オンライン講座への講義配信の状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で配信している ② 一部の学部又は学科で配信している ③ 一部の科目で配信している
④ 大学としての導入を計画又は検討中 ⑤ 配信していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①～③に回答の場合、MOOC等の名称、講座名、実施時期などについて記入して下さい。

--

9. グローバル化能力向上に向けた国外大学との遠隔授業に ICT を利活用する取組みと効果

(1) グローバル化能力向上に向けた国外大学との遠隔授業に ICT を利活用する取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 一部の科目で実施している
④ 大学としての取組みを計画又は検討中 ⑤ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①～③に回答の場合、遠隔授業の内容・効果・課題について記入して下さい。

--

10. 教育・学修支援体制の整備に ICT を用いる取組み

(1) 教育・学修支援体制の整備に ICT を用いる取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 整備している ② 大学として整備を計画又は検討中 ③ 整備していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①に回答の場合、以下の(2)～(4)にお答え下さい。

(2) 支援体制（組織）の名称を記入して下さい。「〇〇大学教育支援センター」、「教育支援室」等の名称を記入

名称

--

(3) 支援組織の構成を回答して下さい。

*TA：大学院生等のティーチング・アシスタント

*SA：学部生等のスチューデント・アシスタント

教員 (担当教員数)	職員 (担当職員数)	研究員・TA/SA (支援担当者数)	外部人員 (アルバイト・派遣等)
名	名	名	名

(4) 現在の支援内容及び3年後の支援計画について、回答して下さい。

教育・学修支援の内容	選択肢	2018年度	2021年度
① シラバスのWeb化支援	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
② 学修支援（事前・事後学修、LMS利用の支援・相談含む）	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
③ eポートフォリオ、学生カルテの活用支援	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
④ 教材作成支援（eラーニング教材含む）	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑤ Webサイト構築の支援（教材等のコンテンツ掲載・サイト開設含む）	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑥ 授業の設計・評価支援（アクティブラーニング等の相談・助言含む）	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑦ 教員の情報技術支援（携帯端末、クリッカー、反転授業含む）	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑧ 授業録画、教材コンテンツ等のアーカイブ化支援	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑨ 授業アンケートの支援（収集・集計・分析等）	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑩ 教育関連ソフトの活用支援	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑪ 産業界・地域社会との連携支援	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑫ FD・SD研究会の支援	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑬ 教育情報の公表支援	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑭ IR活動の支援	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑮ その他：右欄に記入して下さい	2018年度：		
	2021年度：		

II. 教学マネジメントにICTを利活用する取組み

1. 教育課程の体系性を可視化・共有化にICTを利活用する取組み

(1) 授業科目の履修系統図を可視化・共有化する取組みにICTを利活用する状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての実施を計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度	2021年度

(2) 授業科目のナンバリングを可視化・共有化する取組みにICTを利活用する状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての実施を計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度	2021年度

(3) 履修計画のシミュレーション支援を行う取組みにICTを利活用する状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての実施を計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度	2021年度

2. 授業の可視化・共有化にICTを利活用する取組み

授業の可視化・共有化にICTを利活用する内容について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

授業の可視化・共有化にICTを利活用する内容	選択肢	2018年度	2021年度
① 学位授与の方針と授業科目の関連付け	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
② 授業内容	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
③ 成績評価方法	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
④ 教員相互による授業点検・評価	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
⑤ その他：右欄に記入して下さい	2018年度：		
	2021年度：		

3. 教育活動の危機意識を共有化する ICT 利活用の取組み

(1) 教育活動の危機意識を共有化する ICT 利活用の取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての取組みを計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

(2) 上記で2018年度①又は②に回答の場合、その取組み内容について、3つ以内を選び回答して下さい。

- ① 定員の充足率・留年率・中退率 ② 学生の成績・学修時間 ③ 教員一人当たりの学生数
④ 学生の満足度 ⑤ 卒業生の社会からの評価 ⑥ その他 (①から⑤以外)

2018年度	
--------	--

※ 上記⑥その他に回答の場合、その内容を記入して下さい。

--

4. 教育の質保証に ICT を利活用する取組み

教育の質保証に ICT を利活用する取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

教育の質保証にICTを利活用する取組み内容	選択肢	2018年度	2021年度
① 内部質保証の方針・体制の可視化・共有化	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
② 学修ポートフォリオの実施	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
③ ティーチングポートフォリオの実施	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
④ 学部・学科の教育プログラムの点検	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
⑤ 学生や学外者からの教育改善に対する意見収集	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
⑥ その他 : 右欄に記入して下さい	2018年度 :		
	2021年度 :		

5. 学修成果の可視化に ICT を利活用する取組み

学修成果の可視化に ICT を利活用する取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

学修成果の可視化にICTを利活用する取組み内容	選択肢	2018年度	2021年度
① 学修時間・学修行動の把握	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
② 成績評価基準の可視化	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
③ 外部評価	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
④ ディプロマサプリメントによる学修成果の可視化	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
⑤ その他 : 右欄に記入して下さい	2018年度 :		
	2021年度 :		

III. FD・SD 支援の体制

<ICT を用いた FD 支援の体制>

1. 教育改善計画の提案を促進するために ICT を利活用する取組み

(1) 教育改善計画の作成・提出を促進するために ICT を利活用する取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての実施を計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①又は②に回答の場合、取組み内容・課題を記入して下さい。

--

(2) 学内教員による教育改善に関する認識共有に ICT を利活用する取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての実施を計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①又は②に回答の場合、取組み内容・課題を記入して下さい。

--

2. アクティブ・ラーニングを推進・普及するための取組み

(1) ICT を用いて学修支援するファシリテータ導入の取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で導入している ② 一部の学部又は学科で導入している ③ 大学としての導入を計画又は検討中
④ 導入していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①又は②に回答の場合、取組み内容・課題を記入して下さい。

--

(2) アクティブ・ラーニング実施状況の共有化に ICT を利活用する取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で導入している ② 一部の学部又は学科で導入している ③ 大学としての導入を計画又は検討中
④ 導入していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①又は②に回答の場合、取組み内容・課題を記入して下さい。

--

(3) アクティブ・ラーニングの教育技術支援に ICT を利活用する取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての実施を計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①又は②に回答の場合、取組み内容・課題を記入して下さい。

--

3. 学修ポートフォリオ、ティーチングポートフォリオの利活用に関する研修

(1) 学修ポートフォリオ利活用の研修に ICT を用いる取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての実施を計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①又は②に回答の場合、取組み内容・課題を記入して下さい。

--

(2) ティーチングポートフォリオ利活用の研修に ICT を用いる取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての実施を計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①又は②に回答の場合、取組み内容・課題を記入して下さい。

--

4. 教育の情報化推進に向けた著作権法の理解・普及に関する研修

著作権法に関する理解・普及の研修に ICT を用いた取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての実施を計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①又は②に回答の場合、取組み内容・課題を記入して下さい。

--

<ICT を用いた SD 支援の体制>

1. 業務改善及び教育改善を ICT で提案又は協議する取組み

(1) 学内職員が業務改善及び教育改善に関する認識を ICT を用いて共有する取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての実施を計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①又は②に回答の場合、取組み内容・課題を記入して下さい。

--

(2) 教員、職員、学生、地域社会、企業を交えて大学の問題を ICT を用いて意見交換する取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての実施を計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①又は②に回答の場合、取組み内容・課題を記入して下さい。

--

2. データ収集・分析・提案力の向上に向けて ICT を利活用する研修の取組み

データの取り扱い・利活用の研修に ICT を用いる取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての実施を計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①又は②に回答の場合、取組み内容・課題を記入して下さい。

--

3. コミュニケーション力、マネジメント力、企画提案力の向上に向けた研修に ICT を用いる取組み

コミュニケーション力、マネジメント力、企画提案力の向上に向けた研修に ICT を用いる取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての実施を計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①又は②に回答の場合、取組み内容・課題を記入して下さい。

--

IV. 教育情報を収集・分析する IR の取組み状況と今後の整備方針

* ここでの IR (Institutional Research) とは、大学の経営改善や学生支援、教育の質向上のため、学内データを収集・分析し、改善施策を立案、施策の実行・検証を行う広範な活動を指します。

1. 教育活動及び経営活動の実態を整理・分析する IR システムの導入状況

ICT を用いた IR システム導入について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で導入している ② 一部の学部又は学科で導入している ③ 大学としての導入を計画又は検討中
④ 導入していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

2. 教育のIR活動の取組み状況と今後の整備方針

(1) 教育のIR活動にICTを用いた取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての実施を計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

(2) 上記で①又は②に回答の場合、現在取組んでいる内容と3年後の取組み内容について、回答して下さい。(複数回答可)

- ① 履修・成績状況 ② 学修行動状況 ③ 事前・事後の学修時間と学修効果
④ 学修成果の検証 ⑤ 授業評価結果に対する改善策 ⑥ 学修ポートフォリオの活用状況
⑦ 教育プログラムの効果検証 ⑧ 授業科目数の調整 ⑨ FD・SD政策の改善
⑩ 高校と大学教育との連携 ⑪ 卒業生・社会からの評価 ⑫ 地域社会連携による教育改善
⑬ 産学連携による教育改善 ⑭ 入学選抜政策の改善 ⑮ 教育情報公表の戦略
⑯ その他(①から⑮以外)

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記⑯その他に回答の場合、その内容を記入して下さい。

3. 経営のIR活動の取組み状況と今後の整備方針

(1) 経営のIR活動にICTを用いた取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 大学としての実施を計画又は検討中
④ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

(2) 上記で①又は②に回答の場合、現在取組んでいる内容と3年後の取組み内容について、回答して下さい。(複数回答可)

- ① 教育活動改善の中・長期計画策定を意思決定する情報の整理・統合
② 教育活動に伴う人的・物的・資金の最適化点検 ③ 社会人学生・留学生の募集政策
④ 地域社会・産業界との連携による人材育成の政策 ⑤ 情報公表活動の組織体制の充実
⑥ 国の財政援助を活用する戦略 ⑦ 社会からの寄付を拡大するための戦略
⑧ 校友会組織を活用する戦略 ⑧ 大学の認証評価対策 ⑨ 大学活動情報の国内外への発信戦略
⑩ 大学の認証評価対策 ⑩ その他(①から⑩以外)

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記⑩その他に回答の場合、その内容を記入して下さい。

4. IR組織の体制と課題

IR組織を設置している場合、以下の設問に回答して下さい。

(1) 設置年度 西暦 年度

(2) 組織の名称 記入欄

(3) 担当者の人員構成

教員 (担当教員数)	職員 (担当職員数)	研究員 (支援担当者数)	外部人員 (アルバイト・派遣等)
名	名	名	名

(4) 活動状況

① IR組織の業務内容について記入して下さい。

② IR活動の意思決定への反映効果について、主なものを3つ以内記入して下さい。

③ 専門的人材の確保や養成の工夫について記入して下さい。

V. 教育情報の可視化・公表の状況

1. 教育情報を外部に分かりやすく公表する工夫

(1) 教育情報を外部に分かりやすく公表する工夫の取組みについて、現状及び3年後の取組みを一つ選び回答して下さい。

- ① ホームページに「教育情報の公表」として掲載している
- ② ホームページの「関連情報」の中に掲載している
- ③ ホームページには掲載していないが、大学のWeb サイト内に掲載している
- ④ その他 (①から③以外)
- ⑤ 取組んでいない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記④のその他の場合、具体的な取組み内容を記入して下さい。

--

(2) 教育情報公表の改善にICTを用いる取組みについて、現状及び3年後の取組みを一つ選び回答して下さい。

- ① 教育情報の内容を分かりやすくする
(例えば、表現をわかりやすくする、映像・音声による可視化等)
- ② 教育情報がトップページからすぐに見えるようにする
(例えば、3クリックで全情報が見られる等)
- ③ スマートフォンなどの携帯端末でも見られるようにする
- ④ 他大学の公表状況を参考に工夫・改善する
- ⑤ その他 (①から④以外)
- ⑥ 公表の工夫・改善は考えていない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記⑤のその他の場合、具体的な内容を記入して下さい。

--

2. 外部からの質問・意見への対応にICTを用いる取組み

公表された教育情報に対して外部からの質問・意見への対応にICTを用いる取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 意見交流する仕組みがある
- ② 大学としての取組みを計画又は検討中
- ③ 意見交流する仕組みはない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記で2018年度①に回答の場合、具体的な内容を記入して下さい。

--

VI. 情報環境として備えるべき施設・設備の状況

1. 学内LANの整備状況

(1) 学内LAN環境の整備方針について、現状及び3年後の計画を選び回答して下さい。(複数回答可)

- ① 無線LAN環境
- ② マルチメディア対応
- ③ クラウド化対応
- ④ セキュリティ対策
- ⑤ その他 (①から④以外)

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記⑤に回答の場合、具体的な内容を記入して下さい。

--

(2) ネットワークの整備状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

区分	選択肢 (学内ネットワークの速度)	2018年度	2021年度
学内接続	①~100Mbps ②101~600 ③601~1Gbps ④1Gbps以上 ⑤10Gbps以上		
外部接続	①~100Mbps ②101~600 ③601~1Gbps ④1Gbps以上 ⑤10Gbps以上		

(3) 無線LAN強化の取組として、教室、研究室、自習室、図書館等で無線で学内LANに接続できる割合について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 100%
- ② 90%以上
- ③ 80%以上
- ④ 50%以上
- ⑤ 50%未満

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

2. コンピュータ等の整備状況

学内で保有する教育・研究用コンピュータ(サーバ・パソコン・多機能携帯端末等)の現状及び3年後について、回答して下さい。

- * 1 全学のコンピュータ整備台数には、大学が学生に貸し出しするノートパソコンも含めた教育・研究用の台数を記入して下さい。
- * 2 研究専用のコンピュータとして、教育に使用しないものは含めないで下さい。

区分		2018年度			2021年度				
		教育・研究用			教育・研究用				
全学のコンピュータ、 多機能携帯端末等の 整備台数	サーバ	2018年度サーバ数	台	学生1人当りの台数	台	2021年度サーバ数	台	学生1人当りの台数	台
	パソコン	2018年度パソコン数	台	学生1人当りの台数	台	2021年度パソコン数	台	学生1人当りの台数	台
	多機能携帯端末	2018年度端末数	台	学生1人当りの台数	台	2021年度端末数	台	学生1人当りの台数	台
昼間部の学生数		2018年度の昼間部学生数			人	2021年度の昼間部学生数			人

3. 教室のマルチメディア化の整備状況

* ここでのマルチメディア化とは、教室からのネットワーク接続が可能で、授業用コンテンツや音声・映像の投影が可能な音響・映像機器が整備されていることを指します。

(1) 教室のマルチメディア化の割合

- ① 現在の大学の全教室数を回答して下さい。 室 (実習室、ゼミ室、コンピュータ教室等を含む)
- ② 上記①の内、マルチメディア化された教室の数を回答して下さい。 室
- ③ 上記②の内、授業録画機能のある教室の数を回答して下さい。 室

(2) 教室のマルチメディア化で実現したい機能について、現状及び3年後の計画を回答して下さい。(複数回答可)

- ① 授業録画 ② 遠隔授業 ③ 教材作成・配信 ④ MOOC 等での学修
- ⑤ 電子黒板 ⑥ その他 (①から⑤以外)

2018年度		2021年度	

※ 上記⑤に回答の場合、具体的な内容を記入して下さい。

4. 教育・研究へのクラウド利用の状況と課題

(1) 学外クラウドの利用状況と今後の計画について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で利用している ② 一部の学部・学科で利用している ③ 特定の科目で利用している
- ④ 大学としての取組みを計画又は検討中 ⑤ 利用の計画はない

2018年度		2021年度	

(2) 上記①～③に回答の場合、クラウドを利用している目的について、現状及び3年後について主なものを3つ以内回答して下さい。

- ① 情報環境コストの削減 ② 災害時などの大学機能の維持対策 ③ 大学の人的負担の軽減
- ④ 教育機能の高度化 ⑤ 情報環境の利便性向上 ⑥ 情報セキュリティ対策
- ⑦ その他 (①から⑥以外)

2018年度		2021年度	

※ 上記⑦に回答の場合、具体的な内容を記入して下さい。

(3) 学外クラウドの利用に伴う不安・課題について、主なものを一つ選び回答して下さい。

- ① 重要な情報資産の機密保持 ② データ保全に国内法が適用されない ③ 障害時の原因追及が困難
- ④ 契約終了時のデータ返却 ⑤ 情報環境に対する大学内の技術力低下 ⑥ その他 (①～⑤以外)

2018年度		2021年度	

※ 上記⑥に回答の場合、具体的な内容を記入して下さい。

5. ラーニング・コモンズのICT環境の状況

(1) ラーニング・コモンズのICT環境の整備状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で整備している ② 一部の学部・学科で整備している ③ 大学として整備を計画又は検討中
④ 整備しない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

(2) 上記で2018年度①又は②に回答の場合、ラーニング・コモンズに整備しているICT環境の内容を回答して下さい。
(複数回答可)

- ① パソコンなどのICT環境 ② 多機能携帯端末 ③ 電子黒板 ④ グループ学修の録画システム
⑤ 無線LAN ⑥ LMS等の学修管理システム ⑦ その他(①～⑥以外)

2018年度	
--------	--

※ 上記⑦に回答の場合、具体的な内容を記入して下さい。

--

Ⅶ. 情報セキュリティの体制及び対策

1. 情報セキュリティに対する関心度と責任体制

(1) 情報セキュリティに対する大学経営執行部の関与について、現状及び3年後を一つ選び回答して下さい。

- ① 重要な問題と認識し、経営執行部(役員)が関与している
② 経営執行部の関与について大学としての取組みを計画又は検討中
③ 情報セキュリティに経営執行部が関与していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

(2) 情報セキュリティの責任体制はどのレベルが中心となって取組まれているか、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 経営執行部(役員)中心に取り組んでいる ② 情報部門の責任者(センター長)が中心に取り組んでいる
③ 情報部門の現場担当者が中心に取り組んでいる ④ 業者が中心になって取り組んでいる
⑤ その他(①から④以外)

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記⑤に回答の場合、具体的な内容を記入して下さい。

--

(3) 情報セキュリティとして大学が認識している重要課題の主なものについて、現状及び3年後を一つ選び回答して下さい。

- ① 情報セキュリティに対する危機意識の喚起 ② サイバー攻撃への防御対策
③ 情報セキュリティポリシー・規程の整備と周知徹底 ④ 災害時の業務回復・業務継続の対策
⑤ その他(①から④以外)

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記⑤に回答の場合、具体的な内容を記入して下さい。

--

2. 情報セキュリティ対策

(1) 情報セキュリティポリシー・関連規程の策定状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 策定している ② 大学として計画又は検討中 ③ 策定していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

(2) 情報セキュリティポリシー・関連規程の組織的な取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 経営執行部(役員)中心に取り組んでいる ② 情報部門の責任者を中心に取り組んでいる
③ 情報部門の現場担当者を中心に取り組んでいる ④ 大学としての取組みを計画又は検討中
⑤ 組織的な取組みはしていない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

(3) 情報セキュリティ対策に組織的に取り組んでいる内容について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

情報セキュリティ対策の内容	選択肢	該当年度	
1. 重要な情報資産の把握		2018年度	2021年度
① 重要な情報資産の目録作成を実施しているか	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
② 重要な情報資産の重み付けとアクセス権が設定されているか	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
③ 重要な情報資産のリスク評価基準を明確にしているか	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
2. 組織的対応		2018年度	2021年度
① 情報セキュリティの責任者が明確になっているか	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
② 情報セキュリティに関する問題発生時の緊急対応の手順が定められているか	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
③ 情報セキュリティポリシーが策定されているか	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
3. 大学構成員（教員、職員、学生、関連業者等）への対応		2018年度	2021年度
① 情報資産に接する構成員の把握・職務責任・機密保持を明確にしているか	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
② 情報セキュリティに関する教育・研修・広報がなされているか	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
4. 技術的・物理的対応		2018年度	2021年度
① ファイアウォールを導入し、ログ管理や通信を定期的に点検しているか	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
② USBメモリ、ノートPC等の持ち出しや持ち込みの基準が策定されているか	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
③ 情報媒体のパスワード設定、暗号化、紛失・盗難対策がなされているか	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
5. インシデント情報の共有		2018年度	2021年度
① セキュリティのインシデント情報を学内で共有しているか	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
② ①に加えて第三者機関などとの連絡体制を構築しているか	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
6. 災害時の被害回復体制の構築		2018年度	2021年度
① 遠隔地の外部データセンター等に業務継続に必要な情報を格納しているか	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
② 遠隔地域の大学と業務継続を前提とした被害回復対策を構築しているか	①実施している ②計画又は検討中 ③実施していない		
7. その他：右欄に回答下さい	2018年度：		
	2021年度：		

3. 情報セキュリティ防御にICTを活用する取組み

(1) サイバー攻撃に対する全教職員・学生・関係業者等に対する危機意識の徹底について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① Webサイトによる定期的なセキュリティ情報の提供 ② 教授会、職員会議等でのセキュリティ情報の提供
 ③ 学内外の情報セキュリティ研修会参加の義務化 ④ eラーニング研修受講の義務化
 ⑤ その他（①から④以外） ⑥ 実施していない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

※ 上記⑤に回答の場合、具体的な内容を記入して下さい。

--

(2) 情報セキュリティに関する最高情報責任者（CIO）の設置について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 設置している ② 大学として設置を検討中 ③ 設置する計画はない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

(3) 情報セキュリティに関する緊急対応組織の設置と対応手順について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 組織を設置し対応手順を整備している ② 組織は設置しているが対応手順は未整備
 ③ 対応手順は整備しているが組織は未設置 ④ 大学としての取組みを計画又は検討中
 ⑤ 整備する計画はない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

(4) 情報セキュリティ予算の確保について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 予算を確保している ② 予算確保を計画又は検討中 ③ 予算の確保はしていない

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

(5) 物件費に対する情報セキュリティに充当している予算の割合を下記から一つ選び回答して下さい。

- ① 10%以上 ② 7%～9% ③ 4%～6% ④ 3%以下 ⑤ 0%

2018年度		2021年度	
--------	--	--------	--

調査は以上です。

***** ご協力ありがとうございました。 *****